

高砂市市民読書活動推進計画

第1期（素案）

令和8年〇月

高 砂 市

目次

1 計画について

・計画の趣旨	 1
・計画の位置づけ	 2
・計画期間	 2

2 読書活動を取り巻く状況

・読書活動推進に関する動向	 3
・高砂市における読書活動推進の現状・動向	 3
・今後の方向性	 4

3 計画の全体について

・3つの基本姿勢	
① 地域性に応じた読書活動の推進	 5
② 様々な市民に向けた読書活動の推進	 5
③ 読書活動の推進を支える担い手の発掘・育成	 7

参考資料

1 計画について

・計画の趣旨

人生 100 年時代を迎え、生涯学習による生きがいづくりや、多様な幸せを感じられる社会の実現が求められている中、読書は考える力を身につけ、感性を豊かにして生きる力を育むための重要な活動です。また、読書は、一生涯にわたって、個人の学びや、個々のつながり、成長を支えるものであり、「いつでも・どこでも・誰とでも」学び続ける手段でもあります。

これまで本市では、こどもの読書活動の推進に関する取り組みや方向性を示す計画として位置付けている「高砂市子ども読書活動推進計画(第 2 期)」に基づき、乳幼児から 18 歳までを対象とした施策を推進してきました。

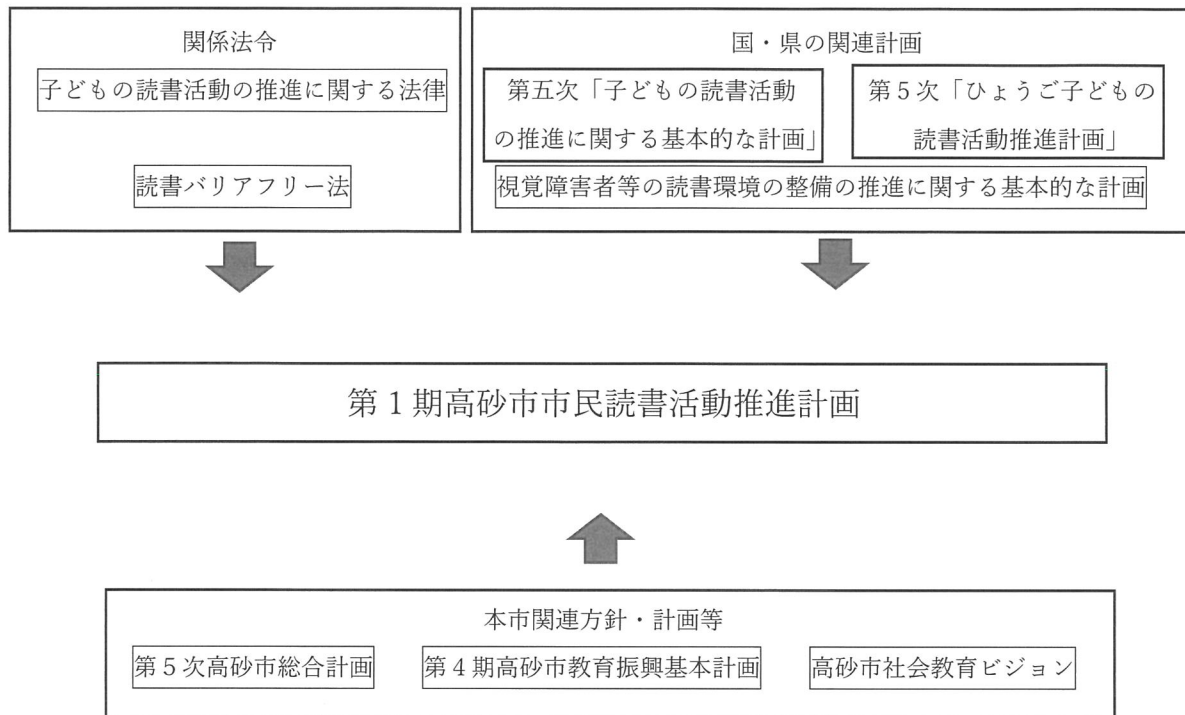
しかしながら近年、年齢を問わず不読率(1 か月に 1 冊も本を読まない人の割合)の上昇が課題となっており、令和 5 年に国が策定した第五次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」においては、こどもだけでなく、大人も含めた読書活動の推進も課題に挙げられています。

このようなことから、市民の誰もが読書に親しみ、生涯にわたり学び心豊かに過ごすことができるよう、市全体で読書に親しめる取り組みを実施し、全世代・全市域で総合的に読書活動を推進するため、本市の子ども読書活動推進計画を内包した計画として「高砂市市民読書活動推進計画」を策定します。

・計画の位置づけ

第1期市民読書活動推進計画は、関係法令・条例に基づき策定し、本市計画の関連する部分や国・県等読書活動に関する計画などとの整合性・連携を図ります。

図



・計画期間

本計画の期間は、令和8年度から令和12年度までの5か年とします。

ただし、新たな国の動きや県の動向など、考慮すべき状況が生じた場合は、必要に応じて計画の見直しを行います。

2 読書活動を取り巻く状況

・読書活動推進に関する動向

国では、第五次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」が、令和5年3月に策定されました。この計画は、政府がおおむね5年ごとに策定するもので、こどもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な方針を示すものです。

兵庫県では、第5次「ひょうご子どもの読書活動推進計画」が令和6年3月に策定されました。この計画では、「読書を通じて、豊かな心と創造力を育む」ことを基本方針として、幼少期からの読書習慣の形成に取り組むとともに、こどもたちの発達段階に応じて、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たしながら、こどもたちの読書活動を社会全体で推進していくとしています。

・高砂市における読書活動推進の現状

①家庭における読書活動の支援

本市では、赤ちゃんと保護者が、絵本を介してゆっくり心触れ合うひとときをもつきっかけをつくることを目的として、毎月3～4か月の乳児保健相談日に乳児及びその保護者を対象にブックスタート事業を実施しています。図書館と健康増進課が協力して、受診者に絵本の読み聞かせをしたり、絵本を展示し手にとって読んでもらったり、「絵本(2冊セット)」と「乳幼児のためのブックリスト」の配布を開始し、絵本を通して親子のふれあいをもつことの大切さを伝えています。

公立認定こども園では、家庭で読書や読み聞かせができるように、保護者に対して図書の紹介や貸出しをするなど、読書を楽しむことができるような働きかけをしています。

②園・学校における読書活動

公立認定こども園では、こどもたちが興味関心をもったことを調べたり、学んだりできるように常にこどもの身近なところに図鑑や読みたい絵本を設置しています。また、園職員が乳幼児に絵本などを読んであげることで、ぬくもりや安らぎの場を提供し、こどもの心の健全な育成を促すとともに、おはなしボランティアと協力して絵本の読み聞かせや素話(すばなし)、わらべうたなどをともにを行い、絵本を通して楽しくお話の世界に出合う機会を作っています。

小学校では、朝の読書の時間を設け、落ち着いて読書する取り組みを行っています。学校司書やボランティア、保護者、職員による読み聞かせ、図書委員の児童とともに読書を推進するスタンプラリー企画などを通じて、環境を整えています。

中学校では、小学校と同様に、朝の読書の時間を設け、図書委員を中心に、本の紹介や読書記録掲示など生徒主体の読書推進の取り組みを行っています。さらに、「Book りんプラン」を活用し、学習に活用する本の選書やしおり作成など

連携を深めています。

小中学校共に、総合的な学習の時間を中心に課題に合わせて、情報収集や調査活動をする中で本を活用する環境を整えるために、学校司書や図書館と連携した選書が行われています。

③地域における読書活動

図書館では、蔵書冊数約25万冊のうち、児童書は約7万冊あり、全体の約28%を占めています。貸出者数は、児童(小学生以下)が約2.7万人(全体の約15%)、貸出冊数は、児童書が約23万冊(全体の約38%)となっています(令和6年度)。親子で読み聞かせに参加できる行事や、図書館ボランティアとも協力してわらべうたやストーリーテリングなど内容が豊富なイベントを定期的を開催しており、参加したこどもが本の世界に楽しく出合う機会をつくっています。

こどもや保護者をはじめ、こどもの読書活動に関わる人に、読書のきっかけづくりや本を選ぶときの参考になるように、「じどうしつだより」や「おすすめ本リスト」を作成して、新しい本や季節の行事にちなんだいろいろな本の紹介をしています。

また、「子ども読書の日」や「ひなまつり」、「七夕」、「クリスマス」等、さまざまな行事にちなんだ展示を行うとともに、関連する本を集めてコーナー展示もしています。園・学校に対しては、絵本や読み物、図鑑などの図書資料をまとめて貸し出す団体貸出サービスも実施しています。

こどもの身近な場所でより多くの本と出合えるように利用の充実に努めています。

・今後の方向性

引き続き、こどもたちが本に触れたり、読書する機会を充実させることに努め、学校図書館や学校司書に対する図書やサービスの支援を図書館と教育委員会が連携して推進します。

また、地域性に応じた読書活動に対するニーズを捉えて、市役所・図書館・学校が連携して、情報共有を行いながら、市民が本を手にする機会を市全域に広げられるようさらなる読書活動の推進を図っていきます。

3 計画の全体について

計画を推進するにあたっては、社会環境の変化を踏まえ、地域資源やデジタル技術を活用するとともに、図書や情報にアクセスしやすい環境づくりを進め、市民一人一人が文字・活字に親しめるよう、3つの基本姿勢をもとに、読書活動を進めます。

・3つの基本姿勢

①地域性に応じた読書活動の推進

地域の読書活動を活性化させるためには、図書館、市役所、学校など地域にある公共施設において、その機能を発揮し、相互に連携し、情報共有を進める必要があります。そのため、図書館や教育委員会が市役所の関係部署や、学校の図書担当教諭・学校司書、市民や民間団体などと協力・連携し、読書に関する情報や、読書を推進する交流の場を提供するなど、地域の情報拠点としての機能を発揮して読書活動の場づくりを支援します。

○施策の方向性

- ・読書機会の少ない人に向けた読書に関する情報提供や、読書活動の交流の場づくり
- ・地域資料のデジタルアーカイブの構築・公開

○主な取り組み

	事業名	具体的な内容
1	図書館サポーター制度	図書館の「地域を支える情報拠点」としての機能および「ふるさと高砂の伝統・文化の継承・発信」機能を充実させるため、図書館外部の様々な分野の専門知識を持った人材(個人及び企業・団体)をサポーターとして登録し、図書館の情報発信等の活動に協力してもらいます。
2	デジタルアーカイブ	図書館が地域の特性を踏まえ、デジタル技術を活用し、いつでもどこでも利用できる、デジタルコンテンツの充実に努め、本や読書への関心を高めるきっかけづくりを行います。

②様々な市民に向けた読書活動の推進

すべての市民が文字・活字文化の恩恵を受けることができるためには、市民が容易に読書に親しむことができ、読書がより身近なものに感じられる環境が大切です。そのため、市民とともに読書活動に取り組み、読書に親しむ機会の提供に努めます。

○施策の方向性

- ・読書機会の少ない人に向けた取り組みやイベント
- ・読書意欲を高めるためのサービスの企画・開発

○主な取り組み

	事業名	具体的な内容
1	ふらっと図書部	図書館が市内の中学校や高校と連携し、生徒を対象に「こんな本が図書館にあったらいいな」などWEB アンケート調査を実施し、その結果をもとに図書館で本の展示イベントを開催する取り組みです。 本に興味を持っている、あるいは本が好きな中高生の要望やおすすめ本に関する情報を収集し、図書館にない本はこれを機会に購入して蔵書に加えられるだけでなく、来館したことがない中高生が図書館へ来るきっかけとなるよう同世代が興味を持っている本の展示や読書に関する情報を提供します。
2	まちなか読書会	朝ごぱん市など定期的に行われるイベントに合わせて、お持ちの本やおすすめ本を読める場所と時間を提供する取り組みを実施します。
3	まちじゅう図書館	市内の公共施設や協力していただけるお店などに棚などを設け、まちの人や店主などがおすすめする本を並べて紹介する取り組みを広げていきます。
4	えほんのもり+ (プラス)	図書館サポーターが、図書館に来られる子育て中の親や保護者に対して、こどもの年齢や興味に合わせて、おすすめする本の紹介や相談を実施するイベントを開催します。
5	ちいさなおはなし会	子育て支援センターと「ちどり文庫」(ボランティアグループ)が協力して、子育て支援センターの事業に参加される親子向けに、絵本などに興味を持ってもらうための行事を開催します。
6	保護者への学校図書館の活用や貸出方法の拡大	小・中学校の図書館を懇談などで部分的に開放したり、児童・生徒を通じて借りることができるサービスを拡充し、親や保護者にも本に興味を持ってもらえるようにします。

③読書活動の推進を支える担い手の発掘・育成

読書活動の場や機会を設ける取り組みなどを開催して担い手を発掘し、読書活動の担い手としての育成を支援するとともに、担い手自身が楽しめる取り組みを充実させます。

市民同士が本を仲立ちとして、交流し楽しむことができる取り組みを推進することで、人と人とのつながりが生まれ、活動が広がることが期待できます。

また、読書活動を進めるためには、それを支える人たちへの支援が大切です。図書館だけでなく、その他の公共施設や地域のイベントなども活用し、人々が集まる場所での活動機会の提供に努めるなど、担い手を支援します。

○施策の方向性

- ・担い手同士の人と人をつなぐ場や機会の提供
- ・市民との協働による読書活動

○主な取り組み

	事業名	具体的な内容
1	ユーズミ	図書館サポーター同士が集まれる場をゼミと名付けて、図書館だけでなく、市内の公共施設などで定期的に実施します。
2	季節の企画展などのイベント	図書館サポーターなどや市役所の関係部署、外部機関などと連携して実施する、読書に関するイベントだけでなく、人と人をつなぐ活動や機会を提供するイベントを実施します。 <例> ・文化スポーツ課主催の『高砂学』(特別編) ・担い手ごとに様々なテーマで調べ学習を通して本に興味を持ってもらえるイベントの開催

参考資料

市民読書アンケート2025

実施期間

2025.10.14－10.31

件数

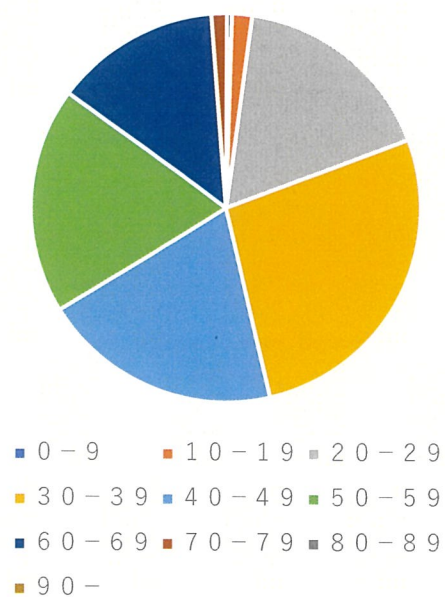
473 件

※アンケート調査の実施期間が短かく、図書館以外の場所で、商業施設の来店客や、市職員・小中学校職員などの働いている方を中心に調査を実施しました。

参考 市民読書アンケート2025

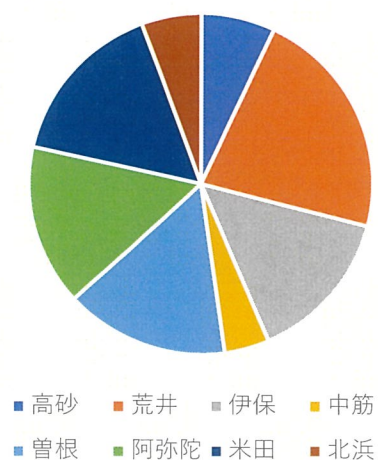
1-1) 年齢

0-9	2
10-19	8
20-29	81
30-39	128
40-49	94
50-59	89
60-69	65
70-79	6
80-89	0
90-	0



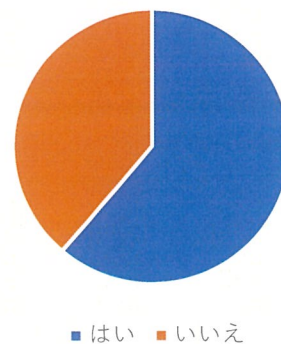
1-2) お住まい

高砂	33
荒井	104
伊保	69
中筋	20
曾根	73
阿弥陀	72
米田	75
北浜	27



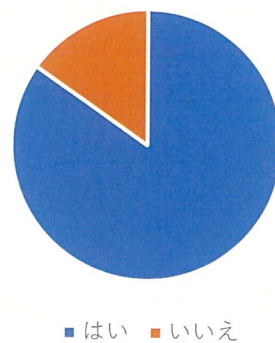
2) ここ1カ月以内に1冊以上、本(漫画本・電子書籍を含まない)を読みましたか

はい	290
いいえ	183



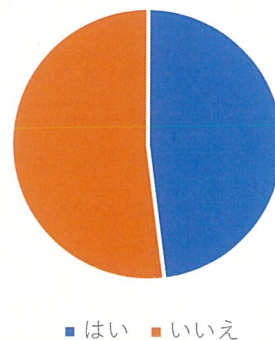
3) ここ1年以内に1冊以上、本(漫画本・電子書籍を含まない)を読みましたか

はい	401
いいえ	72



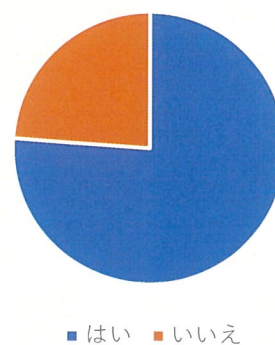
4) 書店などで、ここ1カ月以内に、1冊以上の本(漫画本・電子書籍を含まない)を買いましたか

はい	227
いいえ	246



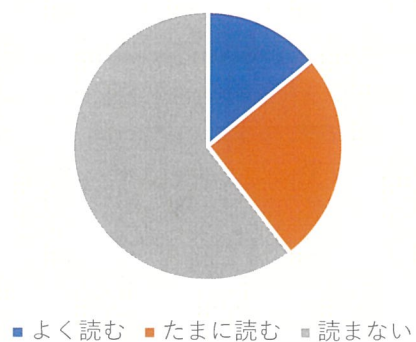
5) 書店などで、ここ1年以内に、1冊以上の本(漫画本・電子書籍を含まない)を買いましたか

はい	360
いいえ	113



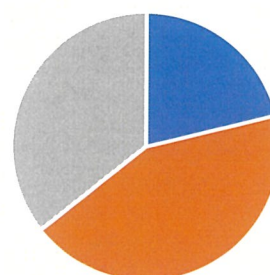
6) 電子書籍を読んでいますか。

よく読む	66
たまに読む	121
読まない	286



7) 漫画本を読んでいますか。

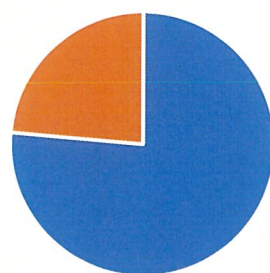
よく読む	100
たまに読む	204
読まない	169



■ よく読む ■ たまに読む ■ 読まない

8) これまで、自分の親や保護者が本を読んでいる姿を見たことがありますか

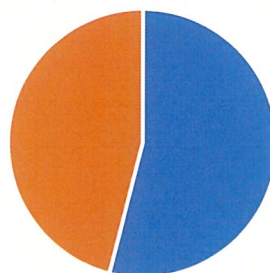
はい	361
いいえ	112



■ はい ■ いいえ

9) 図書館・学校図書館にこの1カ月以内に行きましたか

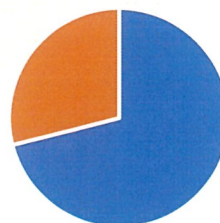
はい	255
いいえ	218



■ はい ■ いいえ

10) 図書館・学校図書館にここ1年以内に行きましたか

はい	336
いいえ	137



■ はい ■ いいえ

高砂市「読書大好き Book りんぷらん」

— 市立図書館と連携した児童生徒への読書活動推進 —



1 目的

市立図書館と連携する中で、児童生徒の自発的な読書習慣のきっかけにしたり、日々の学習と読書活動をつなげたりすることで、読書活動の充実をめざします。

2 対象

高砂市立小・中学校 児童生徒及び教職員



3 どんなことができるの？

○子どもたちへ

- ・ポップ作り
- ・本の修理方法を学ぶ
- ・しおり作り
- ・読み聞かせの方法指導



○先生方へ・学校教育との連携

- ・選書の方法指導
 - ・キャリア教育
 - ・団体貸出(テーマに合わせた選書も可能。50冊まで。期間は30日)
- (例)「平和」をテーマにした図書を40冊ほど選んでくれませんか？

4 実施までの流れ

①連携希望内容・日時等を学校教育課担当まで連絡。



②学校教育課、生涯学習課、市立図書館で日程等調整



③市立図書館担当と学校とで打ち合わせ

※図書館まで徒歩圏内の学校は、図書館にて100人まで活動可能です。

※徒歩圏外の学校は、図書館司書による出前授業も可能です。

お問い合わせ

高砂市教育委員会学校教育課 tact7520@city.takasago.lg.jp

tel 079-443-9054 fax 079-443-0919

ふらっと図書部



あなたのリクエスト取り入れます！

中高生みなさんの読みたい本、受け付けます！

あなたのリクエストした本が、
もしかしたら図書館の棚に並ぶかも？

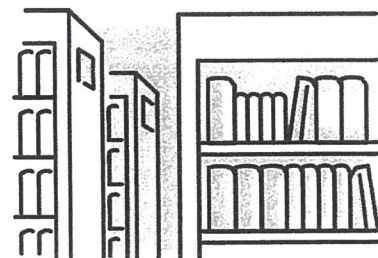
募集期間：

9月1日(月)～9月30日(火)



リクエスト申込フォーム
リクエストはここから！

対象：高砂市内の中学校・高校に
通っている中高生



頂いたリクエストの本はリクエスト理由の言葉とともに11月1日(土)～11月30日(日)に
高砂市立図書館2階ホワイエにて展示貸出いたします。

※参加申込にあたりお預かりする個人情報は、イベントに関する目的以外に使用することはありません。

申込み
問合せ

高砂市立図書館

☎ 079-432-1355



高砂市立図書館 HP

